

市議会だより

 **しぶかわ**

発行◆渋川市議会
編集◆渋川市議会報編集委員会

2022年〈令和4年〉
5月1日 第**66**号



広報と一緒にとして保存しましょう

令和4年

3月渋川市議会定例会

表紙の写真：三原田小学校入学式

■本会議のあらまし	2ページ
■常任委員会の審査	3ページ
■令和4年度予算案の審査	4～5ページ
■一般質問（10人の議員が市政を問う）	7～12ページ

令和4年 3月定例会

令和4年度当初予算を可決

あらまし

令和4年3月定例会は、3月1日から3月25日までの25日間の日程で開催されました。教育委員会委員、監査委員、農業委員会委員、人権擁護委員の人事案件22議案、市長専決処分の報告と承認、令和3年度補正予算や令和4年度予算、市道の廃止・認定、条例の制定・改正等40議案、議員提出議案2議案が上程され、一部を除き、各常任委員会で慎重に審査を行いました。渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例は否決、その他の議案については原案のとおり可決・同意しました。請願1件は、不採択としました。

渋川市インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する条例

インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する施策を推進するため、条例を制定するものです。相談支援体制、財政上の措置等を明確にし、被害者支援を行います。全員一致で可決しました。

渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例

北橋運動場ブロック積み擁壁倒壊等に係る裁判に関して損害賠償金の支払い等、一連の道義的責任を取るため、市長の給料を4月から

3カ月間、1割減額するものです。道義的責任の根拠があいまいであるとして、賛成少数で否決しました。

農業委員会委員の任命同意

農業委員会の委員の任期が令和4年3月31日満了となるため、後任に岸正二氏、青木明雄氏、眞下繁美氏、高橋昭彦氏、田中修之氏、野村隆氏、斉藤美保氏、飯塚敬子氏、山本彰一郎氏、角田壽一氏、青木洋一氏、高井眞佐実氏、内山繁司氏、鳥山孝子氏、齊藤由香氏、都丸正隆氏、奈良嘉祐氏、石田玉枝氏、廣瀬淳氏を任命するものです。全員一致で同意しました。

教育委員会委員の任命同意

教育委員会の委員の任期が令和4年5月19日満了となるため、後任に都橋俊明氏を任命するものです。全員一致で同意しました。

監査委員の選任同意

監査委員の任期が令和4年3月31日満了となるため、後任に田中誠氏を選任するものです。全員一致で同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員の任期が令和4年6月30日満了となるため、引き続き野村直司氏を推薦するものです。全員一致で同意しました。

市長専決処分の報告と承認

市長専決処分した新型コロナウイルスワクチンの小児接種実施のための補正予算の報告を全員一致で承認しました。

令和3年度補正予算

寄附金を基金へ積み立てるための予算や愛郷ぐんまプロジェクトを利用した宿泊客にクーポン券を配布するため等の予算を全員一致で可決しました。

令和4年度予算

令和4年度一般会計予算328億9300万円は、移住定住促進の補助金、デジタル化推進事業、交通対策等で、賛成多数で可決しました。また、国民健康保険等の特別会計予算や事業会計予算も慎重審議の上、全議案可決しました。



コロナワクチン小児接種

常任委員会の審査

総務市民

審査結果 付託された11議案はすべて全会一致または多数決で可決しました。

茨川市インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する条例

質疑 市民意見公募ではモニタリングや通報制度を望む意見があったが、市としてどのように考えていくのか。

【答弁】 個人情報の観点から慎重な検討が必要であると考えています。今後施策の中で参考にしたいと思っております。

質疑 条例制定後の市民への周知は。

【答弁】 誹謗中傷防止のチラシやポスターなどで周知をしていきます。また、年齢等に応じた啓発活動をしていきます。

茨川市職員の給与に関する条例及び茨川市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

国家公務員の給与改正に準じ、期末手当の支給割合の引き下げを行う条例改正です。

質疑 期末手当引き下げの対象者と年間の影響額は。
【答弁】 対象者は正職員と再任用職員で、影響額は合計で約8600万円です。

経済建設

審査結果 付託された7議案はすべて全会一致で可決しました。

茨川市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例

工場等の設置を奨励するため、1億円を限度に用地取得費の10分の1を補助しようとするものです。

質疑 公の機関が造成し販売した団地の用地取得費と民間が用地を取得し造成した場合、用地取得費に差が生じるが、どのように調整するのか。
【答弁】 運用までに対応集を整備します。

茨川市水道事業及び下水道事業等の設置等に関する条例及び茨川市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

下水道事業等事業計画と農業集落排水事業計画との整合を図るため、区域面積、処理人口、1日最大汚水量の変更を行うものです。

教育福祉

審査結果 付託された2議案はすべて全会一致で可決しました。また、請願1件は願意に沿いがたく、不採択となりました。

茨川地域介護認定審査会共同設置規約の変更について

介護認定審査会の委員の定数を増やすものです。

質疑 委員の定数を31人から50人以内に増やす根拠は。

【答弁】 現在、委員は審査会に毎週従事しており、ほかにも本業を持つ委員には負担が大きく、隔週の交代制にして軽減を図ります。それに必要な委員数が50人です。

茨川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

未就学児、6歳以下の子どもの国保税均等割額を5割減額するものです。

質疑 対象人数と世帯数、対象額はどのくらいか。

【答弁】 対象人数304人、対象額381万1500円、世帯数237世帯です。

予算

(令和3年度補正予算)

審査結果 付託された5議案はすべて全会一致で可決しました。

一般会計補正予算(第17号) 減債基金

質疑 今後見込まれる公債費の増加に備え、今回基金へ3億円を積み立てるが、今後の公債費の見込みは。

【答弁】 令和3年度は約31億8000万円、令和4年度の見込みは約32億円です。大型事業等の償還開始が増加の大きな要因です。

質疑 今後の公債費のピークに対し、減債基金に積み立てた額で充足するのか。

【答弁】 将来の公債費の増加に備えて計画的に積み立てているところです。

要保護及び準要保護児童・生徒援助費

質疑 予算減額の理由は。

【答弁】 修学旅行が宿泊から日帰りに変更となったことによる減額が大きな理由です。



誹謗中傷防止啓発ポスター

令和4年度 各会計予算

区分		予算額	
一般会計		328億9,300万円	
特別会計	国民健康保険	(事業勘定)	88億3,637万円
		(診療施設勘定)	410万円
	後期高齢者医療	12億3,513万円	
	介護保険	90億6,562万円	
	農産物直売事業	456万円	
	伊香保温泉観光施設事業	1億2,512万円	
	小野上温泉事業	3,229万円	
	交流促進センター事業	2,872万円	
水道	収益的支出	18億5,492万円	
	資本的支出	15億2,965万円	
下水道	収益的支出	26億1,039万円	
	資本的支出	28億2,513万円	

令和4年度予算案の審査

令和4年度茨川市一般会計予算、後期高齢者医療特別会計予算は、賛成多数で原案のとおり可決しました。ほか8議案については全会一致で原案のとおり可決しました。

証明等手数料

質疑 証明手数料の歳入予算の算出根拠は。

答弁 過去3年間の実績数の平均値に、発行枚数が減少傾向であることを考慮して積算しています。

質疑 証明書コンビニ交付事業が始まるが、交付手数料はいくらか。

答弁 コンビニでの証明交付手数料は1件当たり250円を想定しています。

行政事務執行適正化推進事業

業

質疑 コンプライアンス研修の内容は。

答弁 令和2年度から研修を実施しており、職務に臨むに当たっての姿勢や公務員のあり方についての研修を行ってきました。令和4年度の詳細は未定ですが、引き続きコンプライアンス向上に向けた研修を行ってまいります。

公共交通乗り継ぎ環境整備事業

質疑 北橋地区デマンドバ

スから他の公共交通への乗り継ぎ環境整備を八崎口バス停で行うとのことだが、事業内容は。

答弁 北橋町の八崎口バス停に、乗り換え情報や分かりやすい路線図、時刻表、タクシー会社の連絡先などを記載した案内板を整備し、情報提供能力を高めたいと考えています。

市功労者表彰事業

質疑 表彰条例に基づき、

市に貢献された方を幅広く表彰とあるが、表彰対象者は。

答弁 表彰条例に明記されている16年以上在職の議員、農業委員会委員、教育委員会委員などのほか、自治会、交通指導員等、地域の活動に貢献していただいている方も見込んでおります。

公衆便所維持管理事業

質疑 課題等はあるか。委

託料を上げる考えはあるか。
答弁 課題は老朽化と適正な配置です。今後計画的な更新や洋式化等も検討して

いかなければならないと考えています。委託料の増額については現状では考えておりません。



公衆用トイレ (中郷地区)

空き家跡地活用定住者住宅支援事業

質疑 空き家解体後、何年以内建物新築すればよいのか。また、支援対象者の基準は。

答弁 空き家解体後3年以内に新築工事請負契約をしたものが対象です。支援対象者は市内に住所を置いて2年以上かつ、申請者が40歳未満の世帯となります。

主 な 新 規 事 業

証明書コンビニ 交付事業 	1,000万円	しづかわ企業進出 促進事業	1,000万円	医療的ケア児支援事業	883万円
地球温暖化 対策推進事業 	812万円	共生社会実現に向けた 商店改装等応援事業	730万円	市民生活 デジタル化 推進事業 	529万円
災害時ヘルプバンドナ 普及推進事業	458万円	空家跡地活用 定住者住宅 支援事業 	300万円	新規就農者育成総合 対策事業	300万円
インターネット上の誹謗 中傷等の被害者支援事業	224万円	環境にやさしい宿づくり 応援事業	200万円	地域の安全を守る 防犯カメラ設置 支援事業 	120万円
公共交通 乗り継ぎ 環境整備事業 	110万円	コミュニティ・スクール 推進事業	104万円	遠隔手話通訳 サービス事業 	20万円

家庭児童相談事業

質疑 ヤングケアラーの実態調査とあるが、どのよう
に実態調査を行うのか。

答弁 児童の困りごとをど
のように聞き取るか、学業
に影響が出ていないかなど、
今後の施策や児童に寄り添
った支援につなげられるよ
う他の自治体の調査方法を
参考にするとともに、有識
者に助言をいただきながら
内容と時期を調整したいと
考えています。

森林環境教育事業

質疑 森林・林業見学会を
実施するとあるが、内容は。
答弁 さまざまな役割を担
っている森林の重要性等を
知っていただくため、林業
の施業現場や製材過程に加
え、きのこ栽培等の見学を
考えています。

新産業立地推進事業

質疑 産業団地造成計画を
策定する予定だが、計画地
域、計画実施期間は。

答弁 計画地域については
今年の8月に確定予定です。

また、令和13年度に分譲予
定です。

古巻公民館整備事業

質疑 進ちよく状況は。
答弁 令和3年度から実施
設計に入っており、今年の
6月には実施設計が終了、
その後建物の建設となる予
定です。



現在の古巻公民館

小中学校不登校対策事業

質疑 不登校予防及び不登
校児童生徒の学校復帰を支
援する人材を8名配置とあ
るが、仕事内容は。

答弁 現在も家庭訪問をし
ていただいたり、子どもた
ちの悩み相談や、学習のサ

ポートをしていただいたり
しています。引き続き取り
組んでいきたいと考えてい
ます。

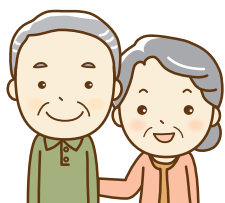
国民健康保険特別会計

質疑 国保あかぎ診療所あ
り方検討委員会の報告を受
けたが、市はいつまでに方
針を出すのか。

答弁 いただいた報告の内
容を尊重しつつ、他市の事
例も研究しながら市の方針
についてさらに広く慎重に
検討していくことが必要と
考えますので、まだ具体的
なスケジュールについては
決まっておりません。

後期高齢者医療特別会計

質疑 制度改正により、窓
口負担が2割となる対象者
数は。
答弁 約2300人が2割
負担になる見込みです。



討 論

3月定例会で行われた主な討論について、概要を報告します。
討論とは、議案等を議決するために賛成・反対の意見を述べることを言います。

「令和4年度渋川市一般会計予算」

賛 成

地方交付税の減収など、依然慎重な財政運営が求められる一方、新型コロナ対策、共生社会の実現等、喫緊の課題とコロナ後を見据えた各種事業は、バランスのとれた内容であるとと思われる。しかし、公債費の支出をはじめ、多くの義務的経費も抱えており、効果的に市民福祉向上や地域の振興が図られるよう、それぞれの施策が展開されることを期待する。

持続可能な行財政、まちづくり実現に向け、一つ一つ着実に、未来を見据えた施策の推進を強く要望する。

反 対

保育料の完全無料化、小中学校の給食費無償化など全国に誇れるものがある一方、職員の期末手当への引き下げは、普段の業務に加え、新型コロナ対応の奮闘に報いるためにも認められない。また、教育面では教員の多忙化解消等ゆとりある教育を行うための対策を求める。

デジタル化の問題では米国などの民間企業等に個人情報や渡ってしまう危険性のある「地方公共団体の情報システムの標準化」は市独自施策の抑制となるため、立ち止まり研究する必要がある。

本会議における渋川市長の答弁の真偽に関する調査特別委員会

3月22日に26回目の委員会が開催されました。

掘り起こされた硯石のバリケードとブルーシートが令和2年3月7日に撤去されていた件について、高木

市長は過去の証人喚問で、撤去されたと推定される時間帯は市長室でスポーツ健康部長と秘書課長の3名で打ち合わせをしていたと証言し、撤去について自らの関与を否定していました。

当委員会が当日の市役所本庁舎の入退庁記録を確認したところ、スポーツ健康部長の記録はあるものの、市長が職員と打ち合わせをしていたとされる時間帯にはおらず、秘書課長の登庁記録はありませんでした。

市長の証言内容の一部と入退庁記録に食い違いがみられたため、当該職員2名及び打ち合わせをしていたとされる時間帯に庁舎内にいた秘書課職員1名の計3

名の証人喚問を行うことに決定しました。日程については改めて決めることとなりました。

令和4年第1回臨時会のあらまし(2月8日開催)

市長専決処分の報告と承認について

令和3年12月に市長専決処分した「しぶかわ観光応援キャンペーン」の期間延長及び対象者拡大に係る一般会計補正予算(第13号)の報告を、全員一致で承認しました。

令和3年度渋川市一般会計補正予算(第14号)

新型コロナウイルス感染症対策として、小中学校をはじめとする公共施設の感染症対策用品の整備及び中小企業者や農業者等の経営継続支援のための予算、原油価格高騰に対する緊急対策のための予算、国の補正予算対応事業に係る予算を全員一致で可決しました。

議員全員協議会 (3月1日開催)

北橋運動場ブロック積み擁壁の倒壊等にかかる第2審判決について

北橋運動場ブロック積み擁壁倒壊等に係る裁判の第2審判決が令和4年2月16日に言い渡され、市に約520万円の支払いを命じた判決内容等の報告がされました。

渋川市議会はインターネット中継しています。

市議会ホームページからご覧いただけます。

ホームページアドレス

<https://www.city.shibukawa.lg.jp/gikai/index.html>
パソコンのほか、「スマホ・タブレット」でも見られます。

右の二次元コードを読み取るか、インターネットの検索で「渋川市議会」を検索し、「議会放映システム」をタッチしてください。



一般質問

～10人の議員が市政を問う～

※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 8 安力川 信之 議員

- DX戦略について
- 災害への備えについて
- 終末期の取組

P 8 加藤 幸子 議員

- 市政を問う
 - 1 森林法違反について
 - 2 農地法違反について
 - 3 旧おふくろ亭又貸し問題について
 - 4 職員の意識改革について

P 9 後藤 弘一 議員

- 渋川市のSDGsについて
 - 1 貧困をなくそう（目標1）
 - 2 飢餓をゼロに（目標2）
 - 3 すべての人に健康と福祉を（目標3）
 - 4 陸の豊かさを守ろう（目標15）

P 9 茂木 弘伸 議員

- 公民館の整備方針について
- 本庁舎の建て替えについて

P 10 中澤 広行 議員

- 農業政策
- 道路政策

P 10 角田 喜和 議員

- 水道事業について
- 渋川市デジタル化（DX）について
- 環境対策について

P 11 山内 崇仁 議員

- 幼稚園の今後について
- 空き家対策

P 11 田村 なつ江 議員

- 北橘地区デマンドバス
- コロナ禍での健康づくり
- 若者の移住について
- 国保あかぎ診療所

P 12 須田 勝 議員

- 安心して暮らせる渋川
 - 1 敷島駅前再生
 - 2 自治会の在り方
 - 3 道路行政
 - 4 職員改革

P 12 板倉 正和 議員

- 過疎地域持続的発展について
- 身近な生活道路の整備について

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。渋川市議会ホームページからご覧いただけます。



安カ川信之

安心・安全のための備えを

DX戦略の備えを

質問 今秋からマイナンバーカードを利用して住民票などのコンビニ交付が始まる。本市としてクラウド型被災者支援システム導入や電子地域通貨などの取り組みを。業務が効率化されることで、もっと市民に寄り添える職員配置を。

危機管理監 被災者支援業務の1層の効率化が期待されるため、導入を含め研究してまいります。

市長戦略部長 地域経済の好循環化を目的に電子地域通貨導入に向けた取り組みを積極的に進めます。**市長** デジタル化による業務効率化を図り、市民に寄り添うサービスへ職員の配置を進めていきます。

災害の備えを

質問 避難所でトイレが大きな問題になる。すぐに駆け付けられるトイレトレーラーの導入を。現在14の自治体でトイレトレーラーが導入され、相互協力を行っている。**危機管理監** 避難者の健康や避難所の衛生的な環境を確保する上で、トイレは大変重要と考えますが、

トイレトレーラーについては、維持管理等の課題もあることから、今後研究してまいります。

終末期の備えを

質問 訪問診療を受けていない在宅での延命を望まない方へ、医師などの協力体制を構築して看取り支援を。

福祉部長 看取り支援の体制構築には関係機関との連携及び調整が必要となりますので、医師会等に意見を伺います。また、終末医療の重要性における周知・啓発に取り組めます。



お悔やみなどの手続きが1カ所のできるワンストップサービスコーナー



加藤 幸子

市政を問う

森林法違反について

質問 市議が関わる北橘町赤城山地区の無届伐採について、市は違法状態は続いていないと以前答弁しているが、市長の考えは。

市長 硯石の無断掘り起こし、無届伐採による森林法違反など数々の違法行為を繰り返していることは看過できない重大な問題です。

質問 掘り起こされた硯石を元の状態に戻すことを求める請願が採択されたが、その後の市の対応は。

市長 原状回復を求めています。まだ実行されていません。議会で採択された請願を重く受け止め、引き続き原状回復を強く求めます。

農地法違反について

質問 新聞報道された議長の大規模な農地法違反を長期間発見できなかったのはなぜか。また、市税のさかのぼりは何年か。

農業委員会事務局長 本人が農地転用申請をせず、農業委員会の農地利用状況調査でも発見できませんでした。今後対策を検討します。**総務部長** 賦課されていないもの

が発見された場合の修正は地方税法の規定により最長5年です。

旧おふる亭又貸し問題

質問 NPOふるさと勢多郡・友の会との土地の賃貸借契約が今年の3月で終了となる。契約の更新を行うのか。長い間放置されている建物は今後どうするのか。

総務部長 令和4年4月以降の土地賃貸借契約は締結せず、3月末をもって契約は終了とします。

市長 補助金を交付し、市有地に建設され、公共性があることから所有者と調整してまいります。



一般質問



後藤 弘一

渋川市のSDGs

貧困をなくそう(目標1)

飢餓をゼロに(目標2)

すべての人に健康と福祉を(目標3)

3)

質問 3つの目標に注目し、本市の困っている子どもの貧困問題の解決を考えるに当たり、まず、貧困家庭とはどういう状態をいうのか。

福祉部長 食材や衣服が買えないなどの経済的困窮が、子どもの生活習慣や学習環境を悪化させている場合があります。
質問 貧困家庭の発見はどのように行っているのか。

福祉部長 家庭児童相談室や保健センターに寄せられる相談、学校での子どもの身なりや行動の変化などが発見のきっかけとなります。
質問 貧困家庭の子どものために、どのような支援が行われているか。
福祉部長 親の就労支援、学用品費用支給、子どもの学習支援など、各機関が連携して支援しています。
教育部長 経済的理由により就学困難と認められる家庭に、就学援

助費の支給等を行っています。

陸の豊かさを守ろう(目標15)

質問 遊休農地に対する具体的な取り組みは。

産業観光部長 農地利用状況調査と所有者等への意向の確認・指導などにより、耕作の再開及び農地復元に取り組んでおります。

質問 遊休農地に対する施策の実績と課題は。

産業観光部長 6・8haの農地利用調整や遊休農地14・4aを解消しました。課題は多様な担い手の確保や効果的な鳥獣被害対策です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs17の目標(国連広報センターから)



茂木 弘伸

豊秋公民館の今後の方針と

新庁舎建設について

公民館の整備方針について

質問 過去の質問で市長から豊秋公民館は建て替えを含めて検討すると答弁があったが、検討状況は。

教育部長 長寿命化計画や総合計画に位置付け、古巻公民館の整備状況を踏まえながら、具体的な検討を進めるとしています。

質問 豊秋公民館は市内で最も古い公民館。利用者の安全安心のため、建て替えを含めて早期事業化を望むが、考えは。

市長 豊秋地区の拠点として承知しています。持続可能な財政と公共施設の維持を上手く調整しながら進めたいと考えます。

質問 子持行政センターの子持公民館移転事業の進捗よく状況は。

総務部長 渋川市公共施設等総合管理計画に基づき、周辺整備を行いつつ、計画的に進めています。
本庁舎の建て替えについて
質問 国や県との庁舎複合化に向けたプロジェクトチームの設置と協議状況は。

総務部長 スケジュールや手法等



新設が待たれる豊秋公民館

の方向性が定まった段階で、プロジェクトチームの設置を進めます。
質問 庁舎の建設場所とスケジュールや財源は。

総務部長 立地適正化計画等を踏まえ建設場所の検討を進め、令和11年度前後の建設工事着手を想定しています。財源は地域振興基金と庁舎建設基金を見込んでいます。

質問 庁舎建設について、市長の考えは。

市長 行政や防災などさまざまな拠点となる庁舎となるよう、幅広い観点から検討を行っていきます。



中澤 広行

高木市長親族農地に車

転用手続きせず

質問 現状の都市計画道路は行き止まりが多く、アクセスが悪い。将来を見据えた綿密な道路計画を。

市長 県道前橋伊香保線吉岡バイパスの延伸道路をはじめ、幹線道路の整備をしっかりと進めます。

質問 農地法は何のためにあるか。

農業委員会事務局長 農地の規制等により耕作者の地位安定と農業生産の増大を図ることが目的です。

質問 高木市長の自宅に隣接する親族所有の畑が駐車場になっており、プレハブ小屋も建っている。これは農地法違反ではないか。

市長 一時期計画的に休耕地としていたが、農地として耕作管理しており農地法違反ではありません。

質問 航空写真にも農地法違反の証拠が残っている。それでも市長は市民に対し、自分は農地法に違反しない、全く悪くないと言えるのか。模範となるべき市長がそれ

でいいのか。農地に車を停めてもプレハブを建ててもいいと。そういう渋川市でもいいのですか。

市長 農作業のため一時期車を停



申請が必要なのではないか

めたが農地として耕作しているのが農地法違反ではありません。判例でも休耕地は、農地となります。

質問 宅地を農地だと言い張っているのは市長だけ。職員は何も言えない。不正を許さないといいつつ自ら不正をする。地目は畑でも課税評価は宅地扱い。なぜこれが農地法違反じゃないのか。渋川市はそれでいいのか。

市長 課税については固定資産税評価員が調査して決めます。当該土地は、過去から農地であります。



角田 喜和

水道の基本使用水量料金の

引き下げを

質問 平成26年度に水道料金が合併後統一され、基本料金が上がった。基本使用水量に満たない多くの世帯から基本水量を引き下げてほしいとの要望がある。引き下げを検討すべき。

上下水道局長 経営に関する協議

会で総体的な料金改定を検討しています。基本使用水量も他市料金体系等を参考にしつつ検討します。

スラグは産業廃棄物

質問 市道のスラグ撤去を求める裁判で市はスラグは廃棄物と認めているにもかかわらず、控訴審で

市に補助参加した大同特殊鋼(株)はスラグは廃棄物ではないと主張した。市は市と相反する大同特殊鋼(株)の主張をなぜ放置しているのか。

建設交通部長 平成14年4月から平成26年1月までの間に大同特殊

鋼(株)が出荷した鉄鋼スラグは、群馬県が平成27年9月11日に廃棄物認定したと認識しています。

質問 控訴審において、大同特殊鋼(株)は、市と「市道上に存在するスラグは被覆措置をしたうえで撤



このスラグの撤去費用は誰が持つのか

去しないことを合意済み」と主張している。市は約束したのか。

建設交通部長 鉄鋼スラグの対策は、対応方針に基づき、処理に関する基本協定により個別契約書の締結を行い対応しています。

質問 スカイランドパーク第4・第5駐車場は、地権者に返す際、大同特殊鋼(株)が撤去すると説明していた。撤去費用は誰が持つのか。

建設交通部長 撤去費用については、大同特殊鋼(株)との覚書締結により、大同特殊鋼(株)と協議を行い、負担を求めていくものであります。

一般質問



山内 崇仁

幼稚園の今後について

質問 公立幼稚園のこども園化に向けた市の動向は。

福祉部長 政策戦略会議などの場で教育部と連携して調整しています。民間施設も含め、施設定員と市内児童数を勘案し、設置類型など早急に検討してまいります。

質問 第四保育所は老朽化が進んでいるが、今後の方向性は。

福祉部長 園舎改築、施設改修、新築整備、民営化、統廃合などさまざまな方法を含め、今後のあり方について、関係者の意見を伺いながら検討を進めています。

空き家対策について

質問 昨年末に「空き家利活用推進」を目的に渋川市地域おこし協力隊を委嘱したが役割は。

総合政策部長 空き家の利活用促進の分野で委嘱しました。空き家の掘り起こしや賃貸借啓発活動、所有者と移住者のマッチング等で活動していただくこととなります。

質問 隊員との情報共有等が必要だが、取り組み状況は。

総合政策部長 1週間に1度市役所へ出向いていただき、そのほかにも現場確認等職員と同行し、情報共有を行っておりますが、共有不足とならないよう取り組みます。

質問 「渋川市空き家活用マッチング制度」が創設されたが、新規事業者は対象外か。

総合政策部長 空き家の抑制、地域活性化のため、空き家を地域資源として活用したいと考えた制度であります。要綱の中で収支決算書等必要書類を定めています。要綱改正を含め、検討を進めます。



かに石こども園
(令和2年度から認定こども園として開園)



田村なつ江

市民の命と暮らしを守る

北橋地区デマンドバス

質問 実証実験の実施結果から見込まれる事業効果は。

建設交通部長 北橋地区の移動需要特性に適していることが認められ、北橋地区の公共交通不便地域が解消されると考えます。

質問 交通弱者に対する今後の支援策の考えは。

市長 交通事業者の料金割引や福祉団体の買物支援、小売業者の移動販売等の取り組みと連携し、よりきめ細やかな支援策を講じます。

コロナ禍での健康づくり

質問 3回目ワクチン接種の実施状況と小児接種の進め方は。

スポーツ健康部長 2月から始まった追加接種は順調に進んでおり、小児についても対象者への周知を行い、接種が開始となっています。

質問 コロナ禍でフレイルの進行が懸念される。基礎的な体力の維持にラジオ体操の習慣化を。

スポーツ健康部長 習慣化に向け、今後は地域での自主的な体操会の設置を促していきたいと思えます。

若者の移住

質問 若者を呼び込むためのPRや新たな施策の考えは。

市長戦略部長 若者加算など子育て世代の移住支援策を充実させていきます。また、移住定住に関する情報を効果的に発信していきます。

国保あかぎ診療所

質問 診療所休止に係る説明会で出された意見に対する市の対応は。

総合政策部長 行政としてしっかりと受け止め、説明会翌日には庁内で共有を図るとともに、あり方検討委員会でも報告しました。



北橋地区デマンドバス



須田 勝

安心して暮らせる渋川

敷島駅前再生

質問 地域おこし協力隊が駅前再生事業を行うと聞くが、その内容は。また、再来年の敷島駅開業100周年に当たり、市の対応は。

総合政策部長 実行委員会が主催し、地域の魅力を再発見するイベントを開催することで移住定住者の増加を図り地域の活性化につなげるもので、市がサポートします。

自治会の在り方

質問 自治会運営の財源である資源ごみ回収報奨金の値上げを。また、報奨金から除外されているペットボトルも資源ごみ回収として扱えないか。自治会への交付金や行政事務委託料の引き上げを望む。

市民環境部長 金属類のみ報奨金を値上げします。ペットボトルは処理の都合上、同様に扱えません。

市長 現在も自治会への委託料は県内他市の中で最高額となっており現状維持でご理解いただきたい。

道路行政

質問 市道の傷み、亀裂、破損が増えている。計画的な補修を望む



にぎわう駅前イベント

が、舗装や補修の基本的な考えは。
建設交通部長 市道に関する要望は多いため、優先度等を考慮し、令和4年度では事業を拡充してさらなる進捗をよくを図ります。

職員改革

質問 職員のノー残業、ノー会議の推進や、自信を持ち仕事の能力が発揮できるよう希望課への配置の推進を望むが、考えは。

総務部長 ノー残業デー、ウェブ会議等による業務効率化と職員の能力を最大限に発揮できるように適材適所の人員配置に努めています。

市長戦略部長 地方移住に関心が寄せられている中、市の魅力や資源をしっかりと広報し、地域の活性化、イメージアップを図ります。

質問 小野上地区でのデマンドバス試行運行の今後の進め方について。

建設交通部長 現在実施している基礎調査の結果を基に、新年度当初、体験乗車モニターに協力いただき、走行試験運行を実施します。

質問 過疎地域における地域医療をどのように進めていくのか。

スポーツ健康部長 市民が安心して医療が受けられるよう受診の足



板倉 正和

持続可能なまち渋川を目指して

過疎地域持続的発展について

質問 渋川市過疎地域持続的発展計画を策定したが、過疎地域の課題解決の考えは。

総合政策部長 過疎指定された各地区の特性を生かした施策の展開により、地域課題を解決していきたい考えです。

質問 PR動画などを活用し、本市のイメージアップや移住定住につなげてはどうか。

市長戦略部長 地方移住に関心が寄せられている中、市の魅力や資源をしっかりと広報し、地域の活性化、イメージアップを図ります。

質問 小野上地区でのデマンドバス試行運行の今後の進め方について。

建設交通部長 現在実施している基礎調査の結果を基に、新年度当初、体験乗車モニターに協力いただき、走行試験運行を実施します。

質問 過疎地域における地域医療をどのように進めていくのか。

スポーツ健康部長 市民が安心して医療が受けられるよう受診の足



小野上地区の棚田

の確保など過疎地域における必要な対応について考えていきます。

質問 集落の整備、地域コミュニティの活性化など、過疎地域の将来像についての考えは。

市長 自然豊かな地域の魅力を発信し「過疎」を「適疎」と再評価していただく取り組みを進めます。

身近な生活道路の整備について

質問 生活道路整備に当たったの取り組みの流れは。

建設交通部長 自治会要望を基に計画し、説明会などで趣旨を理解いただいた後、整備しています。

令和4年3月定例会の審議結果

条例の制定・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決

- 渋川市インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する条例

条例の改正・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決

- 渋川市個人情報保護条例の一部を改正する条例
- 渋川市事務分掌条例の一部を改正する条例
- 渋川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市一般職非常勤職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- 渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例(議案第17号)
- 渋川市職員の給与に関する条例及び渋川市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 渋川市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例
- 渋川市小口資金融資促進条例の一部を改正する条例
- 渋川市長期優良住宅の普及の促進に関する法律関係手数料条例の一部を改正する条例
- 渋川市水道事業及び下水道事業等の設置等に関する条例及び渋川市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

条例の改正・・・・・・・・・・・・・・・・ 否 決

- 渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例(議案第41号)

請願・陳情・・・・・・・・・・・・・・・・ 不採 択

- 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立に使用しないよう意見書の提出を求める請願

決 議・・・・・・・・・・・・・・・・ 原案可決

- ロシアによるウクライナ侵略に対する抗議と即時撤退を求める決議
- 事務調査経費の決議

令和3年度補正予算・・・・・・・・・・・・ 原案可決

- 渋川市一般会計補正予算(第16号)(第17号)(第18号)(第19号)
- 渋川市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- 渋川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 渋川市介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 渋川市交流促進センター事業特別会計補正予算(第2号)

令和4年度予算・・・・・・・・・・・・ 原案可決

- 渋川市一般会計予算
- 渋川市国民健康保険特別会計予算
- 渋川市後期高齢者医療特別会計予算
- 渋川市介護保険特別会計予算
- 渋川市農産物直売事業特別会計予算
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計予算
- 渋川市小野上温泉事業特別会計予算
- 渋川市交流促進センター事業特別会計予算
- 渋川市水道事業会計予算
- 渋川市下水道事業等会計予算

市長専決処分の報告と承認・・・・・・・・ 承 認

- 令和3年度渋川市一般会計補正予算(第15号)

人 事・・・・・・・・・・・・・・・・ 選 挙

- 渋川市選挙管理委員及び補充員の選挙

人 事・・・・・・・・・・・・・・・・ 同 意

- 渋川市教育委員会委員の任命の同意について
- 渋川市監査委員の選任の同意について
- 渋川市農業委員会委員の任命の同意について(19人)
- 人権擁護委員候補者の推薦について

そ の 他・・・・・・・・・・・・ 原案可決

- 市道の廃止について
- 市道の認定について
- 市道金井大野線(第3工区)鉄鋼スラグ対策工事請負契約の変更について
- 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について
- 群馬県市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更に関する協議について
- 渋川地域介護認定審査会共同設置規約の変更に関する協議について

令和4年第1回臨時会の審議結果 (2月8日開催)

市長専決処分の報告と承認・・・・・・・・ 承 認

- 令和3年度渋川市一般会計補正予算(第13号)

令和3年度補正予算・・・・・・・・・・・・ 原案可決

- 渋川市一般会計補正予算(第14号)

ロシアによるウクライナ侵略に対する抗議と 即時撤退を求める決議・・・原案可決

現在、ロシアによるウクライナ侵略が行われており、これまでに大人や子どもの区別なく、在外国人を含めた多くの死傷者が発生しており、また、軍事施設のみならず、一般住居への被害、さらには欧州最大規模の原子力発電所に対する攻撃で火災が発生するなど、在外国人を含めたウクライナに暮らす人々の生命や財産とその国土に甚大な被害を与えている。

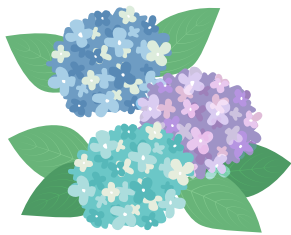
今回のロシアによるウクライナへの侵略は、一方的な武力行使であり、国際社会の秩序の崩壊をもたらす。このような世界平和を著しく損なう行為は、断じて容認することができない。

よって、本市議会は、ロシアによる軍事的暴挙に対し、抗議と非難の意を強く表明し、即時の攻撃停止と軍の無条件完全撤退を強く求めるとともに、政府においては、ウクライナ在留邦人の安全確保と、国際法及び国連憲章に基づいた強力な対策のために国際社会と結束して、平和的解決に向けて全力を尽くすよう強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月9日
群馬県渋川市議会

発行◆渋川市議会(22)2483
編集◆議会報編集委員会



令和4年6月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
6/5	6	7	8	9	10	11
				本会議 (開会・議案上程)	本会議 (議案上程)	
12	13	14	15	16	17	18
	一般質問	一般質問	一般質問	常任委員会 (総務市民) (経済建設)	常任委員会 (教育福祉)	
19	20	21	22	23	24	25
	常任委員会 (予算)	休会	本会議 (表決・閉会)			

- 本会議は午前10時から開会します。
- 日程は変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

議会報編集委員会

委員長 山内 崇仁
副委員長 反町 英孝
委員 田村 なつ江
田中 猛夫
山崎 正男
加藤 幸子
池田 祐輔

編集後記

ウィズコロナと向き合い3年目、生活様式も変わり、人との大切なつながりも希薄になり心を痛めています。現在、オミクロン株による新型コロナウイルス感染症の第6波は減少傾向にあります。波は減少ペースは非常に緩やかで、依然、感染は高止まっています。

新型コロナウイルス追加接種(3回目)が進められています。また、5歳から11歳の小児接種も始まりました。ワクチン接種により収束へと向かうことを期待するとともに、お一人お一人がさらなる感染予防に努め、日々生活していきましよう。

委員一同、市民の皆さまに、より市政について関心を持っていただける広報紙を目指して取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。
(編集委員 田村なつ江)



環境にやさしい植物油インキを使用しています。